エコアクション21
認証番号 0008202

エコアクション21

環境経営レポート

2025年度版

（運用期間　2025年4月～2026年3月）



2026年5月29日発行

目　　次

１　環境経営方針 ---- 1

２　会社概要 ---- 2

３　エコアクション 21 の対象範囲 ---- 3

４　環境経営目標 ---- 4

５　環境経営計画 ---- 5

６　環境経営計画に基づき実施した取組内容 ---- 6

６－１エコアクション 21 の実施体制 ---- 6

６－２環境経営計画に基づき実施した環境への取組 ---- 7

７　環境経営目標の実績 ---- 11

８　環境経営計画の取組結果とその評価 ---- 12

９　次年度の環境経営目標及び環境経営計画 ---- 14

１０　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無 ---- 15

１１　代表者による全体評価と見直しの結果 ---- 15

1　環境経営方針

経営理念

顧客の期待に応え　技術の真髄を追求し
品質と安全を確保し　社員に幸せを与え
地域社会に貢献する

環境経営方針

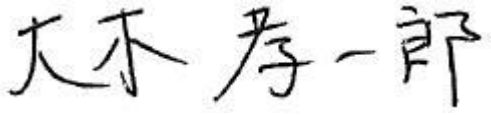
【基本理念】
大高建設は、地域に貢献する建設会社として、積極的に環境経営に取り組み、環境保全に努めることにより、環境経営の継続的改善に努める

【行動指針】

- 環境保全の重要性を深く認識し、事務所および建設現場における二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・排水量の削減に努めます。
- 物品・資材のグリーン購入を促進するとともに、環境に配慮した計画・設計を提案し、環境負荷の低減に資する工法や作業を採用します。
- 地域社会における環境保全活動に積極的に参加します。
- 適用される環境関連法規を把握し、それらを遵守します。
- 具体的な環境経営目標および環境経営計画を全従業員で共有し、目標達成に向けて工事関係者に理解を求める。

制定日：2011 年 8 月 11 日
改定日：2020 年 4 月 1 日

大 高 建 設 株 式 会 社
代表取締役



2　会社概要



（1）　事業所名　　大高建設株式会社
　　代表者名　　代表取締役　大木　孝一郎

（2）　所在地　　〒812-0006
福岡市博多区上牟田 1 丁目 29 番 6 号

（3）　事業内容　　建築及び土木の設計ならびに施工
URL https://www.o-taka.com

（4）　事業規模

事業年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
売上高（百万円）	6,784	7,727	8,373
従業員数(人)	46	45	44
床面積（㎡）	1,457	1,457	1,457

（5）　事業年度　　4 月～翌 3 月

（6）　設立年月日　　1975 年 3 月 25 日

（7）　資本金　　9,500 万円

（8）　建設業の許可　福岡県知事許可　（特－8）　第 5790 号
建築工事、土木工事、大工工事、左官工事、とび･土工工事、
石工事、屋根工事、タイル･れんが･ブロツク工事、鋼構造物工事、
鉄筋工事、舗装工事、板金工事、ガラス工事、塗装工事、
防水工事、内装仕上工事、熱絶縁工事、建具工事、解体工事

（9）　建築士事務所登録
大高建設株式会社一級建築士事務所
福岡県知事登録　第 1-10690 号

(10) 環境管理責任者　営業部 次長　春國　朋陽

(11) 連絡先　　管理部　宮崎　貴司
TEL：092-414-2222　FAX：092-414-2226
E-mail: t.miyazaki@o-taka.com

『突き抜けた強み』を追求する　　大高建設株式会社

大高建設は、1975 年（昭和 50 年）の創業以来、北部九州を中心として数多くのお客様のご支援を頂いて参りました。顧客ニーズを的確に把握し、土地建物を通じお客様の課題解決に寄与する建築ソリューション企業として評価いただいています。

弊社は特に、『鉄骨造』、『物流・生産施設』の建築に携わる多くの機会に恵まれ、産業用建物建築分野において多様な経験と実績を有し、発注者様の事業展開やヒトモノの流れなどを詳細に検討し、滞りない事業運営に貢献する建物作りを目指して参ります。

お客様から確たる信頼を得るべく、他社との差別化を常に志し、『突き抜けた強み』を持つ企業となるべく成長を続ける所存でございます。



Works 大規模流通施設

福岡インター流通パークとその周辺

20 万㎡の農地を開発し、延べ面積 14 万㎡の物流 6 棟を建設した大規模流通業務施設「福岡インター流通パーク」。JA 粕屋傘下の㈱かすやのスタッフー員として、企画・開発に当初から参画しました。



物流施設

多品種の商品を正確かつ効率的に仕分・配送する物流施設。
作業の効率性と安全性を重視した企画・設計・施工を行います。



工場

合理的かつ機能的なライン操業が求められる生産施設。
作業の効率性と安全性を重視した企画・設計・施工を行います。



医療・福祉施設

利用する人々が安心感と信頼感を感じられる外観デザインと室内環境を。
同時に医療スタッフが、医療・福祉に専念でき、充実したサービスを提供できる施設計画を提案いたします。



事務所

企業イメージ・企業ブランドを的確に伝える外観デザインと時代のニーズに応える最新機能を備えることにより、そこに働く人々のモチベーションと業務効率を高める執務空間を提案いたします。



集合住宅

住む人々のライフスタイルが多様化し、それに即したフレキシブルな間取りや内装が求められています。
お客様のご要望を充分に把握し、個性豊かで多彩な住空間を創造いたします。



店舗

大型複合施設・スーパーマーケット・自動車ショールームなど数多くの実績。
周辺環境に配慮し、高感度の高い建物デザインで、お客様が入店しやすい雰囲気を醸成し集客力を高めています。



その他

保育園などの児童施設、公民館などの集会施設、宿泊施設、輸送施設、インフラ施設などの生活の基盤となる多種多様な施設について、利用する人々にとって最適な空間を提案いたします。

3　エコアクション 21 の対象範囲

・エコアクション 21 は、当社の全組織（本社）、全活動を認証・登録の対象範囲としています。

（1）対象事業所　　本社

（2）対象事業活動　　建築及び土木の設計ならびに施工

4　環境経営目標

・環境経営方針の経営理念や行動指針を具現化するために、以下に示す環境経営目標を策定しました。

・環境経営目標は中期目標の 2025 年度を適用し、2022 年度環境負荷の実績を基準年に、サイト別（本社、現場、全社）に 6 項目 10 目標を設定し、当社の最大の環境負荷である二酸化炭素排出量については、総排出量と売上げ当たりの原単位目標を設けて、2025 年度は基準年の 3%削減を目指しています。

環境経営目標		単位	サイト区分	基準年	単年度目標	中期目標	
				2022 年度（2022.4～2023.3）実績値	2023 年度（2023.4～2024.3）	2024 年度（2024.4～2025.3）	2025 年度（2025.4～2026.3）
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	全社	183,043	181,213（▲1%）	179,382（▲2%）	177,552（▲3%）
		kg-CO_2/億円	全社	4,576	4,530（▲1%）	4,484（▲2%）	4,439（▲3%）
	(1)電気使用量の削減	kWh	本社	76,012	75,251（▲1%）	74,491（▲2%）	73,732（▲3%）
	(2)ガソリン使用量の削減	L	本社	51,362	50,848（▲1%）	50,335（▲2%）	49,821（▲3%）
2	廃棄物排出量の削減						
	(1)一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減	kg	本社	710	710	710	710
	(2)産業廃棄物排出量の削減	%（リサイクル率）	現場	98	93	93	93
3	水使用量の削減	㎥	本社	224	224	224	224
4	グリーン購入の定着	%（購入額比率）	本社	73	65	65	65
5	設計・施工における環境配慮の推進	件（省エネ設計案件）	全社	11	11	11	11
6	社会貢献の推進（地域ボランティア活動参加）	人	全社	12	12	12	12

備考）・（　）内は基準年に対する削減率を示す。
・基準年売上額は 40 億円とした。
・電力の二酸化炭素排出係数は、国が公表した九州電力㈱の 2023 年度調整後排出係数（0.406 kg-CO_2/kWh）を用いた。
・化学物質は自社での使用実績がないため目標から除外した。関係業者が使用する場合はＳＤＳ（安全データシート）を提出させて、適正管理を実施している。

5　環境経営計画

・環境経営目標を達成するために、2025 年度は次のような環境活動を実施しました。
・なお、二酸化炭素排出量の削減については、軽油使用量の把握を取組目標として設定し、今後の目標化の必要性を検討することとしています。

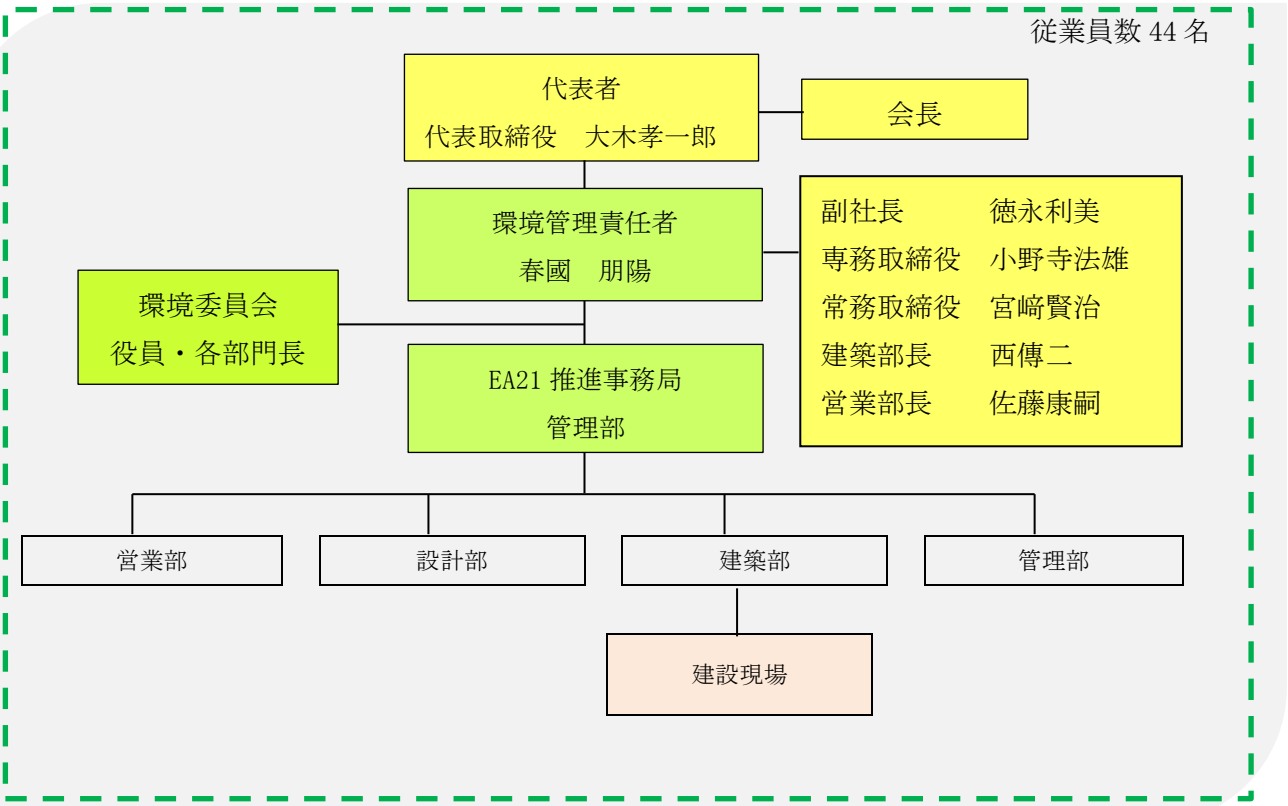
No.	環境経営目標	取組目標	主要活動項目	主管部署
1	二酸化炭素排出量の削減	(1)電気使用量 3%削減	・室温の適温化（デマンド監視装置による管理の徹底） ・使用していない部屋の照明消灯、空調停止 ・残業時間削減の推進	本社
		(2)ガソリン使用量の 3%削減	・エコドライブの実施 ・社有車に低燃費車採用	全社
		(3)軽油使用量の把握	・現場における軽油使用量の把握	現場
2	廃棄物排出量の削減	(1)一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減（可燃ごみ排出量の維持）	・可燃ごみ排出量の把握 ・裏紙の活用	本社
		(2)産業廃棄物排出量の削減（リサイクル率 93%）	・品質管理の徹底による工事遅延や再工事の防止 ・マニフェスト管理の徹底	現場
3	水使用量の削減	(1) 水使用量の削減（水使用量の維持）	・日常的な節水活動の推進	本社
4	グリーン購入の定着	(1) グリーン購入の定着（購入額比率 65%）	・環境ラベル認定製品の優先的購入 ・省エネルギー基準適合製品の購入促進	本社
5	設計・施工における環境配慮の推進	(1)省エネ設計施工の推進	・省エネ・省資源化に向けた設計・施工の提案	本社
		(2)環境配慮施工の実施	・現場パトロールによる品質管理の徹底 ・化学物質の適正管理（SDS に基づく現場使用の指導）	現場
6	社会貢献の推進	(1)地域ボランティア活動参加	・近隣周辺の清掃活動 ・地域貢献活動への参加推進	全社

備考）・活動責任者が担当者を兼任する。
・軽油使用量については工事件数・規模によって数量の変動が大きいため、目標化はせず、今回は使用量の把握を取組目標とした。

6　環境経営計画に基づき実施した取組内容

・本年度実施したエコアクション 21 に基づく環境への取組内容は、以下のとおりです。
・エコアクション 21 の実施・運用に当たっては、現業務組織の体制を基本に、以下のような実施体制を構築し、役割・分担を決めて全社員で取り組みました。

6－1 エコアクション 21 の実施体制



所属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境方針を作成し、従業員に周知する ・環境への取組を実施するための資源を準備する ・EA21 全体の取組状況に関し、評価および見直しを実施する
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・環境目標、環境活動計画を作成する ・環境方針以外の環境文書の制改訂責任者 ・取組状況や問題点の発生状況を確認し、その結果を代表者に報告する
環境委員会	・環境目標の達成状況、環境活動計画の実行状況を 3 ヵ月毎に評価する ・システム運営上の問題が発生した場合は、必要な是正処置を検討する ・工事遅延や手戻りが発生しないよう、適切なコミュニケーションが取れているかを案件ごとに確認する
EA21 推進事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21 文書および記録、基礎データの作成、維持、集計、管理を行う
部門長	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門員に周知し、目標達成のため環境活動を推進する ・自部門に関係する環境関連法規制を把握し遵守する ・・環境委員会で検討した是正処置に対応する
全従業員	・環境経営方針および環境への取組の重要性を理解し、決められたことを守り、積極的に環境活動に参加する
現場代理人	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を作業所内に周知し、協力会社には環境への取組の協力を要請する

6－2　環境経営計画に基づき実施した環境への取組

・今日、SDGｓや2050年カーボンニュートラル等、地球規模の課題解決に向けた取組の社会的要請が強まっており、これらは今後の事業活動を継続・発展させる上で事業者の重要な責務と考えております。

・当社は10年前からエコアクション21の認証・登録を行い、環境経営システムを構築してカーボンニュートラルやSDGｓにも取り組んでおります。

・今年度は、環境経営計画に基づき以下の取組をSDGｓ（17のゴール）と紐付けて実施しました。





1．二酸化炭素排出量の削減



（1）電気使用量の削減

・室温の適温化（デマンド監視装置による管理の徹底）を実施した。

・不要な照明の消灯・昼休み時の消灯、夜間の主電源OFFを実施しました。

・ノー残業デイを月に一度実施している。



デマンド装置



LED照明の利用



事務所室温の管理



不要な照明の消灯

（２）燃料(ガソリン、軽油)使用量の削減



・エコドライブを実施しています。
・社有車（低燃費車）を積極的に利用しています。
・現場における軽油使用量を把握しています



低燃費車（ハイブリッド車）の積極的利用



エコドライブ 10 のすすめ

２．廃棄物排出量の削減



・事業系一般廃棄物の可燃ごみ排出量を把握しています。
・事務所内ではコピー用紙使用量を把握しています。
・産業廃棄物については、現場での発生抑制、分別の徹底を行いました。
・マニフェスト管理の徹底し、適正処理に努めました。



事業系ごみ分別表



コピー用紙使用量の把握と裏紙使用



現場における産業廃棄物の分別



産業廃棄物の一次保管施設





電子マニフェストの発行

３．水使用量の削減

・啓発ポスター等を使って日常的に節水活動を行いました。
・トイレも節水タイプに更新しています。



節水ポスターの貼付け



節水型トイレ（DT-ZA150H）

４．グリーン購入の定着

・事務用品はグリーン購入商品をカタログ・仕様書で確認して購入し、記録しています。
・設備機材は省エネルギー基準適合製品の購入を促進しています。



グリーン事務用品の購入



グリーン事務用品の購入

５．設計・施工における環境配慮の推進

・化学物質を使用する場合は、SDS を取り寄せ、作業従事者に適正使用を指導しています。
・工事現場で調達する重機等は、低負荷施工機械（低騒音、排ガス規制適合）を選定しています。
・省エネ・省資源化に向けた設計・施工の提案を行っています。



低負荷施工機械の選定



省資源化に向けた設計・施工の提案物件
（スタンパッケージの提案）

６．社会貢献の促進取組

・地域貢献活動(地域ボランティア活動)への参加を長年行っており、感謝状や表彰状等を頂きました。



一企業一花運動に参加(博多駅前の花壇)



消防活動表彰状
(福岡市消防団協力事業所)





福岡市消防団合同訓練



ボランティア活動



エコアクション 21 永年継続事業者感謝状

7　環境経営目標の実績

・2025 年度運用期間中の環境経営目標に対する実績は次のとおりであり、設定した 6 項目 10 目標のうち 5 目標が未達成となったが、それ以外の 6 項目 5 目標で目標を達成出来ました。

環境経営目標	単位	サイト区分	基準年	2025 年度 (2025.4～2026.3)		目標達成率	達成状況評価
			2022 年度 (2022.4～2023.3) 実績値	目標	実績)		
1　二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	全社	183,043	177,552 (▲3%)	233, 182	76%	×
	kg-CO_2/億円	全社	4,576	4,439 (▲3%)	2, 776	160%	◎
(1) 電気使用量の削減	kWh	本社	76,012	73,732 (▲3%)	76, 680	96%	△
(2) ガソリン使用量の削減	L	本社	51,362	49,821 (▲3%)	49, 338	101%	○
2　廃棄物排出量の削減							
(1) 一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減	kg	本社	710	710	596	119%	○
(2) 産業廃棄物排出量の削減	% (リサイクル率)	現場	98	93	87	93%	△
3　水使用量の削減	m^3	本社	224	224	230	97%	△
4　グリーン購入の定着	% (購入額比率)	本社	73	65	53	81%	△
5　設計・施工における環境配慮の推進	件 (省エネ設計案件)	全社	11	11	13	118%	○
6　社会貢献の推進 (地域ボランティア活動参加)	人	全社	12	12	33	275%	◎

備考)・達成状況の評価区分　◎：120%≦目標達成率　○：100%≦目標達成率＜120%　△：80%≦目標達成率＜100%　×：目標達成率＜80%　－：判定不可

・目標達成率の計算　削減目標の場合：目標÷実績×100、増加目標の場合：実績÷目標×100

8 環境経営計画の取組結果とその評価

・環境経営計画の取組結果とその評価は以下のとおりで、取組は適切に実施されました。

（1）二酸化炭素排出量の削減

・概ねできている。

・軽油の使用量の把握は引き続き行う。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
1	二酸化炭素排出量の削減	(1)電気使用量 3%削減	△	・室温の適温化（デマンド監視装置による管理の徹底） ・使用していない部屋の照明消灯、空調停止 ・残業時間削減の推進	○
		(2)ガソリン使用量の3%削減	○	・エコドライブの実施 ・社有車に低燃費車採用	◎
		(3)軽油使用量の把握	－	・現場における軽油使用量の把握	◎

備考）・目標達成状況区分　◎：120%≦目標達成率　○：100%≦目標達成率＜120%　△：80%≦目標達成率＜100%
×：目標達成率＜80%　ー：判定不可
・取組実施状況区分　◎：定着　○実施されている　△：ほぼ実施されている　×：実施されていない
ー：判定不可

（2）廃棄物排出量の削減

・古紙の分別を徹底することで、一般廃棄物の排出量を削減している。

・産業廃棄物のマニフェスト管理は、電子マニフェストを導入し確実に実行されている。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
2	廃棄物排出量の削減	(1)一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減 （可燃ごみ排出量の維持）	○	・可燃ごみ排出量の把握 ・裏紙の活用	◎
		(2) 産業廃棄物排出量の削減 （リサイクル率 93%）	△	・品質管理の徹底による工事遅延や再工事の防止 ・マニフェスト管理の徹底	◎

（3）水使用量の削減

・節水活動の推進はできている。来年度は目標値を達成できるよう努める。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
3	水使用量の削減	(1)水使用量の削減 （水使用量の維持）	△	・日常的な節水活動の推進	◎

（4）グリーン購入の定着

・グリーン商品を購入できる機会が少なかった。来年度は目標値を達成できるよう努める。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
4	グリーン購入の定着	(1)グリーン購入の定着 （購入額比率 65%）	△	・グリーン商品の積極的購入 ・省エネルギー基準適合製品の購入促進	◎

（5）設計・施工における環境配慮の推進

・概ねできている。

・環境負荷の少ない建築材料を積極的に使用している。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
5	設計・施工における環境配慮の推進	(1)省エネ設計の推進	○	・省エネ・省資源化に向けた設計・施工の提案	◎
		(2)環境配慮施工の実施		・低負荷施工機械の選定 ・化学物質の適正管理 （SDS に基づく現場使用の指導）	◎

（6）社会貢献の推進

・近隣周辺の清掃活動は実施できている。

・地域貢献活動も良くできている。

・福岡市消防団協力事業所として社員が消防団活動を行っている。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
6	社会貢献の推進	(1)地域ボランティア活動参加	◎	・近隣周辺の清掃活動 ・地域貢献活動への参加推進	◎

9　次年度の環境経営目標及び環境経営計画

・2025 年度の運用成績を踏まえて、次年度（2026 年度）計画は以下のとおりとします。

（１）環境経営目標（2026 年度）

・2025 年度の目標達成状況は概ね問題ない結果であったため、中期目標計画の 2025 年度を基準値にして参照します。

環境経営目標		単位	サイト区分	基準年	単年度目標	中期目標	
				2025 年度 実績値	2026 年度	2027 年度	2028 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	全社	234,026	231,686 (▲1%)	229,345 (▲2%)	227,005 (▲3%)
		kg-CO_2/億円	全社	2,786	2,758 (▲1%)	2,730 (▲2%)	2,702 (▲3%)
	(1) 電気使用量の削減	kWh	本社	76,680	75,913 (▲1%)	75,146 (▲2%)	74,380 (▲3%)
	(2) ガソリン使用量の削減	L	本社	49,338	48,845 (▲1%)	48,351 (▲2%)	47,858 (▲3%)
2	廃棄物排出量の削減						
	(1) 一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減	kg	本社	596	596	596	596
	(2) 産業廃棄物排出量の削減	% (リサイクル率)	現場	87	93	93	93
3	水使用量の削減	m^3	本社	230	224	224	224
4	グリーン購入の定着	% (購入額比率)	本社	53	65	65	65
5	設計・施工における環境配慮の推進	件 (省エネ設計案件)	全社	13	13	13	13
6	社会貢献の推進 (地域ボランティア活動参加)	人	全社	33	20	20	20

・電力の二酸化炭素排出係数は、国が公表する九州電力㈱の 2025 年度調整後排出係数（0.417 kg-CO_2/kWh）を用いた。
・基準年売上額は 84 億円とした。
・産業廃棄物排出量の削減及び水使用量の削減目標は昨年度の目標値を引き継ぐ

（２）環境経営計画（2026 年度）

・基本的な取組は変えないが、目標未達成となった以下の取組は重点項目として全社で徹底していきます。

・熱中症対策等のため、エアコンの温度を決めずにデマンド監視装置による節電を行う。

・残業時間を削減することで、節電に努める。

１０環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

・当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、法令違反はありませんでした。
・また、関係機関や利害関係者等からの違反の指摘や訴訟も過去３年間ありませんでした。

該当法規名	遵守事項	遵守状況
１ 廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理	遵守
	産業廃棄物管理票の交付及び保管・報告	遵守
	事業系一般廃棄物の適正処理	遵守
２ 建設リサイクル法	解体工事等における特定建設資材の再資源化	遵守
３ 資源有効利用促進法	再生資源の利用促進	遵守
４ 大気汚染防止法	特定粉じん等排出作業に関する手続き	遵守
５ 労働安全衛生法	解体・改修工事における環境配慮	遵守
６ オフロード法	基準適合重機の使用	遵守
７ フロン排出抑制法	空調機の簡易点検、廃棄時の適正手続き	遵守
８ 騒音規制法	特定建設作業実施の市町村への届け出	遵守
９ 振動規制法	特定建設作業実施の市町村への届け出	遵守
１０ 建築物省エネ法	適合判定	遵守

１１代表者による全体評価と見直しの結果

（１）取組の全体評価

・環境への取組については、環境経営方針ならびに環境経営目標の達成に向けて項目ごとに適切に実施されています。
・環境経営目標の達成状況については、半分以上達成できていないため、次年度は目標を達成できるよう努めます。
・環境経営システムについては、概ね有効に機能していますが引き続き運用状況を検証していきます。

（２）見直しの結果

・次期の中期目標計画を策定し、概ね有効に運用できていることから、今後もこの計画の運用結果をみて、見直しの必要性を検討していきます。